

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策 のうち スマート林業・DX推進総合対策

令和8年度予算額 262,953千円（前年度 216,773千円）
〔令和7年度補正予算額（林業・木材産業国際競争力強化総合対策の一部）700,000千円〕

<対策のポイント>

林業の安全性、生産性及び収益性の飛躍的な向上を図るため、スマート林業技術の導入環境整備、スマート林業機械・機器等の開発・実証、地域一体で林業活動にデジタル技術をフル活用する拠点づくりを支援します。

<事業目標>

デジタル技術を地域一体でフル活用する取組の普及（デジタル林業戦略拠点が1つ以上ある都道府県数25〔令和12年度まで〕）

<事業の内容>

1. スマート林業技術導入環境整備事業

① 「森ハブ・プラットフォーム」運営支援

林業分野への新技術の導入を加速するための全国規模のプラットフォームの運営を支援します。

② スマート林業技術の安全確保のためのルール整備

スマート林業技術の安全確保のため、ガイドラインの改定内容の検討、人検知機能等の予防安全機能に関する検討等を実施します。

③ ICT活用基盤データ整備事業

デジタル技術を活用して林地台帳を効率的に更新するツールの整備等を実施します。

2. 戦略的技術開発・実証事業

伐倒・集材等の素材生産や造林作業のスマート化に向けた林業機械・機器等の開発・実証を支援します。

3. 林業DX推進対策

地域一体で、木材の生産から流通に至る林業活動にデジタル技術をフル活用する拠点づくりを支援します。

<事業の流れ>

委託、定額、1/2

国 → 地域コンソーシアム、民間団体等 ※国有林では直轄で実施

<事業イメージ>

スマート林業技術導入環境整備事業

- 林業分野への異分野企業等の参入を促す「森ハブ・プラットフォーム」の運営
- スマート林業技術の安全確保のためのルール整備
- 林地台帳を効率的に更新するツールの整備等

「森ハブ・プラットフォーム」のイメージ



戦略的技術開発・実証事業

スマート林業機械等のイメージ

<緩傾斜向け>

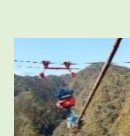


伐倒機械・集材機械等の林内走行性能の向上

<急傾斜向け>



ウインチアシスト伐倒機械の開発



架線集材機械の自動化・高出力化等

○植付け・下刈り等の造林分野

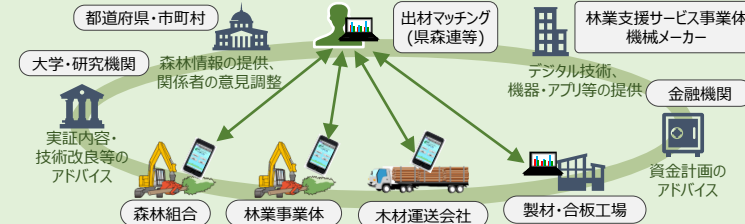


植栽機械の遠隔操作化・自動化・林内走行性能の向上
下刈り機械の自動化・林内走行性能の向上

林業DX推進対策

- 地域コンソーシアムによる林業のデジタル化・DXの実証活動を支援し、「デジタル林業戦略拠点」を構築

地域コンソーシアムのイメージ



【お問い合わせ先】 林野庁研究指導課 (03-3501-5025)

<対策のポイント>

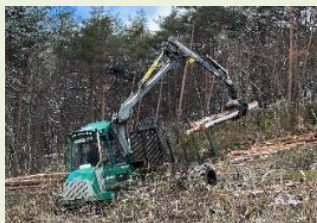
林業の安全性及び生産性の飛躍的な向上に向けて、**スマート林業機械・機器等の開発・実証**を支援します。
 なお、森ハブ・プラットフォームに参画する企業の協業案件について、優先採択します。

①スマート林業機械・機器の開発・実証

伐倒・集材等の素材生産や造林作業のスマート化に向けた林業機械・機器の開発・実証、事業規模での実証・改良

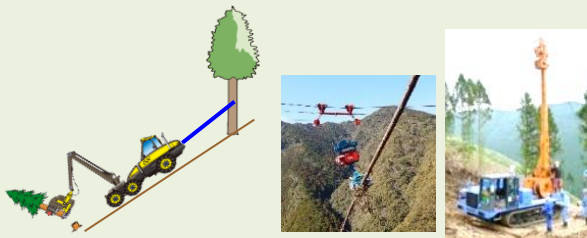
素材生産分野における林業機械・機器の開発・実証

<緩傾斜向け>



伐倒機械・集材機械等の
林内走行性能の向上

<急傾斜向け>



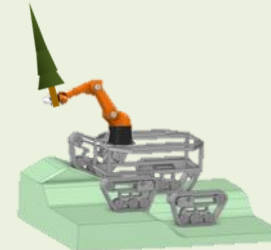
ウインチアシスト
伐倒機械の開発

架線集材機械の
自動化・高出力化等

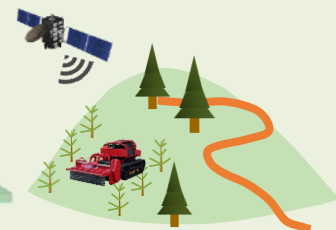
造林分野における林業機械・機器の開発・実証



植栽作業の省力化
に資する電動機械



植栽機械の
遠隔操作化・自動化・
林内走行性能の向上



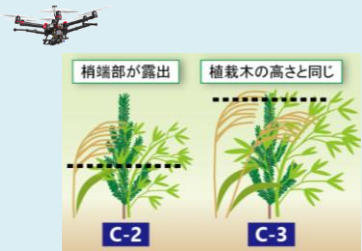
下刈り機械の自動化・
林内走行性能の向上

②ソフトウェア等の開発・実証

森林作業の安全性・生産性の向上に資するソフトウェア・機器の開発・実証



造林支援ツールの開発（植栽配置計画の自動作成、下刈り要否の自動判定等）



③通信技術等の開発・実証

森林内の通信環境の確保に向けた通信技術・機器の開発・実証



自動運転機械の監視、データ通信等に必要通信環境の確保

<事業の流れ>



林業DX推進対策

令和8年度予算額 120,936千円 (前年度 94,501千円)

<対策のポイント>

多様な関係者で構成される地域コンソーシアムが主体となり、地域一体で、木材の生産から流通に至る林業活動にデジタル技術をフル活用し、林業のデジタル化・DXに取り組む「デジタル林業戦略拠点」の構築を進めます（「面的」な取組を全国で展開）。

① デジタル林業展開支援事業 22,936千円

林業のデジタル化・DXの伴走支援

- 林業のデジタル化・DXに取り組む地域に対して、コーディネーター派遣等による伴走支援を実施
- 先進地域の取組成果を活用し、他地域への横展開に必要な伴走支援ツールを充実
- 地域間での好事例の共有・情報の交換、新たな地域の取組みを促進

(地域における取組の進展のイメージ)

フェーズ① 地域コンソーシアムの形成と課題の明確化

フェーズ② 複数事業者・工程の連携による実証プロジェクト

フェーズ③ 地域が一体となったデジタル林業の自律的展開

(伴走支援ツールの例)

体制整備等
のための
チェックリスト

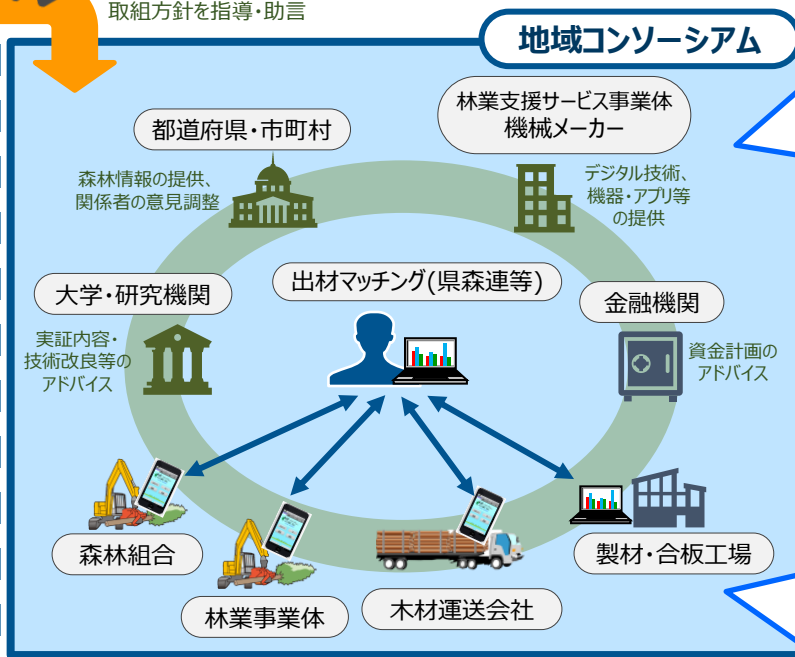
デジタル化
費用対効果
算定ツール

② デジタル林業戦略拠点構築推進事業 98,000千円



コーディネーター

第三者の視点で進捗を評価、
取組方針を指導・助言



地域が一体となったデジタル林業の自律的展開 (林業DX)
(デジタル林業戦略拠点の構築)

地域の木材生産・流通の収益性を持続的に向上

基幹事業 (実証活動、資機材購入費等を支援)

伐採・流通の効率化

- ・ICTを活用した生産管理（複数の現場の生産量等の情報共有・一元化）
- ・製材工場等の木材需要と山側の木材供給のマッチング
- ・木材輸送トラックの配車の効率化 など



木材検収システム



需給マッチングシステムの構築

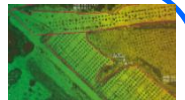


トラック運材効率化

提案事業 (実証活動、資機材購入費等を支援)

再造林の省力・低コスト化

- ・植栽計画のデジタル化とGNSS活用による植栽作業の効率化
- ・ドローンを活用した苗木運搬
- ・遠隔操作下刈り機械の活用 など



デジタル技術を活用した植栽計画



ドローンによる苗木運搬



遠隔操作下刈り機械

<事業の流れ>



[お問い合わせ先] 林野庁研究指導課技術開発推進室 (03-3501-5025)